



~美しい自然と温かい人たちに囲まれて、
本来の自分を取り戻せる島~

沖縄修学旅行 防疫観光ガイドライン

~安全・安心な受入をめざして~

令和4年11月24日更新



はじめに

沖縄への修学旅行につきまして、平素よりご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。
毎年、数多くの学校に修学旅行先として本県を選んでいただいております。年間約2,400校、43万人の学生・生徒の皆さんに沖縄の自然・歴史・文化を通じた「学び」を体験していただいております。

沖縄県では、withコロナ時代の観光において、修学旅行で沖縄をお越しになられる皆様方へ「安全・安心」にご旅行を催行していただくことを目的に「沖縄修学旅行 防疫観光ガイドライン ～安全・安心な受入をめざして～」を策定いたしました。

「修学旅行」は、学校生活の中でも参加する生徒の皆様にとって最も強い印象として残る極めて価値のある教育的体験学習であるとの認識のもと、観光業界一丸となって当ガイドラインに沿って修学旅行の受入を行いますので、修学旅行で本県を訪れる学生の皆様、またご父母、学校関係者、旅行社の皆様においては当ガイドラインを是非参考にいただければと存じます。
安全・安心な沖縄修学旅行を実施するため、新型コロナウイルス感染症予防及び感染拡大防止対策にご協力をお願いいたします。

なお、当ガイドラインは随時「更新」を図って、より「安全・安心な訪問地づくり」に努めて参りますので、ご利用の際にはどうぞ最新版のご確認をよろしくお願い申し上げます。
おもてなしの気持ち「うとういむち」の心で皆さまを歓迎いたします。

沖縄県・(一財)沖縄観光コンベンションビューロー

【 目 次 】



1. 修学旅行前や修学旅行中の相談窓口

2. 沖縄へ来る修学旅行生のみなさまへ①②

3. 沖縄修学旅行実施にあたっての新型コロナウイルス

感染症関連の留意事項

4. 新型コロナウイルス感染症かも…と思ったら

5. 宿泊療養までの流れ（イメージ）

6. 県内修学旅行受入事業者の対策①～⑤

(1) 関連業種ガイドライン一覧(OCVB webサイト)

(2) 航空機 (8) 観光施設

(3) 船舶 (9) マリン体験

(4) バス (10) 教育旅行民泊

(5) タクシー (11) 平和ガイド(ガマ入壕)

(6) モノレール (12) 飲食店

(7) ホテル (13) お土産店

7. よくある質問（FAQ）①～⑧

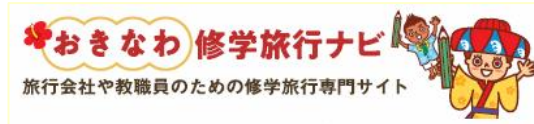
8. 協力企業・参考



1. 修学旅行前や修学旅行中の相談窓口

修学旅行前の事前相談

- (一財) 沖縄観光コンベンションビューロー 受入推進課 教育旅行チーム
TEL：098-859-6129 (対応時間 9：00～17：00 ※土日・祝祭日を除く)
- (一財) 沖縄観光コンベンションビューロー 東京事務所 教育旅行チーム
TEL：03-5220-5311 (対応時間 9：30～17：00 ※土日・祝祭日を除く)



おきなわ修学旅行

修学旅行中に体調が悪くなった、また発熱者が出た場合

●旅行者専用相談センター沖縄 (TACO)

(以下「TACO」※Traveler's Access Center Okinawa)

TEL：098-840-1677 (対応時間8：00～21：00 ※変更の可能性あり)

●新型コロナウイルス感染症 相談窓口 (コールセンター)

TEL：098-866-2129 (24時間受付・年中無休・※TACO対応可能時間外)



※TACOの役割

- ・旅行者等からの電話相談に対する看護師による健康相談が主な役割です。
- ・発熱外来対応医療機関などの紹介は行っていません。

※沖縄県新型コロナウイルス感染症相談コールセンターの役割

- ・24時間対応。検査・受診・後遺症その他ご相談。
- ・夜間、休日にお困りの際はご連絡ください。
- ・発熱外来対応医療機関などの紹介を行っております。

2. 沖縄へ来る修学旅行生のみなさまへ①

安全・安心な沖縄修学旅行を実施するため、新型コロナウイルス感染予防及び感染拡大防止対策にご協力をお願いいたします。

旅 前 タビマエ

参考：旅行関連業における新型コロナウイルス対応 ガイドラインに基づく国内修学旅行の手引き（第5版）

| 対策 | 教職員 | 生徒 | 保護者 | 旅行社 |
|--|-----|----|-----|-----|
| 感染防止対策の事前指導。（感染予防の行動、手洗い・手指消毒や咳エチケット、乗り物乗車中や食事中などでの会話を控える、大声を控えるなど） | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 同居家族を含め健康観察の徹底。※発熱体調不良の場合は参加を取りやめていただけるようお願いいたします。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 濃厚接触者ではないことの確認。※濃厚接触者であった場合、参加を取りやめていただけるようお願いいたします。また、濃厚接触者の疑いがある場合は保健所や医療機関の指示に従って学校協議の上で参加をご判断ください。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 体温、体調などの報告。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 食物アレルギー、既往歴、基礎疾患に関わる情報の事前確認。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 常備薬の準備。（特に持病を抱えている場合、多めに持参ください） | ○ | ○ | ○ | ○ |
| マスク（1日1枚）、ハンカチ（1日1枚）、体温計。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 現地の発熱外来対応医療機関や宿泊施設等の新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインの確認。 | ○ | | ○ | ○ |
| 医療用抗原検査キットの沖縄県内販売薬局の事前確認。（沖縄県の夜間PCR検査 非対応） | ▲ | | | ▲ |
| 万が一、濃厚接触者になってしまった生徒の宿泊施設の確認。（滞在ホテルなどに確認） | ▲ | | | ▲ |
| 宿泊施設間を移動中、民泊利用中、旅程最終日に体調不良者が発生した場合の宿泊施設など待機場所についての確認。（滞在ホテルなどに確認） | ▲ | | | ▲ |
| 出発地及び目的地の都道府県等が発出する新型コロナウイルスの対応指針等の確認。 | ○ | | | ○ |

2. 沖縄へ来る修学旅行生のみなさまへ②

安全・安心な沖縄修学旅行を実施するため、新型コロナウイルス感染予防及び感染拡大防止対策にご協力をお願いいたします。

旅 中 タビナカ

参考：旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく国内修学旅行の手引き（第5版）

| 対策 | 教職員 | 生徒 | 保護者 | 旅行社 |
|--|-----|----|-----|-----|
| 感染防止対策の実施（感染予防の行動、手洗い・手指消毒や咳エチケット、乗り物乗車中や食事中などでの会話を控える、大声を控えるなど） | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 朝・夕の定期的な検温 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| マスク（1日1枚）、ハンカチ（1日1枚）、タオルは共用しない | ○ | ○ | ○ | ○ |

旅 後 タビアト

| 対策 |
|--|
| 旅行終了後の健康観察 参加者ご本人や同居のご家族等も含めた健康状態の経過観察を、実施後の一定期間（目安として2週間程度）行うようお願い致します |
| 感染者が発生した場合、発生後、沖縄県・沖縄観光コンベンションビューローがインタビューを行うことがあります。ご協力ください。 |



令和3年2月27日沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部発信

新型コロナウイルスの感染経路とその回避策

接触、飛沫、マイクロ飛沫により、感染するおそれがあります。
感染リスクを回避する感染防止対策を徹底しましょう！

接触

ウイルスが付着した場所に触れた手で、自分の口や鼻に触れる
感染防止策→こまめな手洗い・手指消毒

飛沫

感染者が咳・くしゃみ・発声等で飛ばした飛沫を吸い込む
感染防止策→マスク着用・距離確保

マイクロ飛沫

微細な粒子となって浮遊しているウイルスを吸い込む
感染防止策→換気・距離確保

3. 沖縄修学旅行実施にあたっての 新型コロナウイルス感染症関連の留意事項



※令和4年11月1日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。
予めご了承ください。

1. TACO（旅行者専用相談センター沖縄）の役割

- ・旅行者等からの電話相談に対する、看護師による健康相談が主な役割です。
- ・**発熱外来対応医療機関などの紹介は行っていません。**

2. 沖縄県新型コロナウイルス感染症相談コールセンターの役割

- ・24時間対応。検査・受診・後遺症その他ご相談。
- ・夜間、休日にお困りの際はご連絡ください。
- ・**発熱外来対応医療機関（リンク）などの紹介を行っております。**
※診療を受ける際は、事前に医療機関へ電話連絡してください。

<参考>

医療の逼迫状況によっては、オンライン診療（リンク）などの方法もご検討ください。

3. 感染が疑われる場合のフローについて

- ・フローチャートが公表（リンク）されておりますのでご覧ください。

4. 濃厚接触者の特定について

- ・沖縄県内では令和4年1月以降、濃厚接触者への連絡を行っていません（同居家族、ハイリスク施設での事例を除く）。
- ・新規陽性者ご自身（引率者）で該当者を判断ください。（リンク）

<参考>

沖縄県事業「修学旅行緊急時支援事業」（リンク）

5. PCR検査機関について

- ・沖縄県内では現時点で夜間対応は行っていません。
- ・沖縄県内PCR検査・抗原検査施設（リンク）【沖縄県民は無料】

6. 医療用抗原検査キット等の持参について

- ・夜間の発熱など急を要する場合、医療機関等への搬送省略に対応できるため、医療用抗原検査キットの沖縄県内販売薬局（リンク）を事前にご確認ください。
※陽性者に係る旅行保険の適用は、医師の診断が前提となることがあります。
- ・持病を抱えている修学旅行生は処方されている薬を把握し、多めに持参ください。

7. 発生届の対象者等（全数届出を令和4年9月26日から見直し）

- ①65歳以上の方、②重症者リスクがあり、かつ、治療薬または酸素投与が必要な方、③入院を要する方、④妊婦の4類型に限定
→修学旅行生は基本的に発生届出対象外
→届出対象者と対象外で医療機関等での検査後のフローが変わります。
(第178回対策本部会議 資料2：34ページ)（リンク）（リンク②）

8. 沖縄県陽性者登録センターについて

- ・陽性となった場合、届出対象外の方につきましては、ご自身（引率者）で登録センターへ電子申請を行います。（リンク）（リンク②）
- ・スマートフォン、身分証、沖縄での滞在先(ホテル等)の住所、郵便番号などが必要となります。
- ・陽性登録後、届出対象外の方につきましては、保健所や健康管理センターからの連絡はありません。
宿泊療養施設入所などの行政サービスを受けたい方は、陽性登録後、メール等にて申し込みください。（リンク）

～宿泊療養施設などの行政サービスを受けたい方～

- ・沖縄本島 中南部、北部 申込メールアドレス：hotel20220127@gmail.com
- ・本島中南部 問い合わせ先：080-6481-4971(9:00～17:00)
- ・本島中南部以外：管轄する保健所へ問い合わせください。（リンク）
- ・複数の修学旅行生を同一の療養施設へ入所を希望される場合はその旨を手配担当にお伝えください。
- ・**沖縄県民のみならず旅行者の方も申請可能です。**（沖縄の滞在先住所等が必要）
※感染症法上の表現を用いているため、沖縄県公表資料では「**対象者が県内に居住している方**」となっております。

9. 新型コロナ陽性時の療養先について

- ・感染者の増加等により、医療機関への入院は高齢者、重症化リスクが高い方などが優先されております。
- ・**修学旅行生など軽症者の療養は、希望すれば原則、専用の宿泊療養施設になります。**（感染状況により変更もあります。）

10. 宿泊療養施設の稼働状況について

- ・最新の沖縄県コロナ対策本部の公表資料（リンク）からご確認ください。

11. コロナ関連の体調不良時の待機場所について

- ・次のようなケースに体調不良者が発生した場合の待機場所について事前に取り決めることもご検討ください。
<例：宿泊施設間を移動中、民泊利用中、旅程最終日>

12. 陽性者の搬送について

- ・自分たちで搬送が出来ない場合には、新型コロナウイルス感染症対策本部（一部離島については保健所）による搬送が可能な場合があります。
稼働状況（リンク）

13. 航空機への搭乗について

- ・業種別ガイドラインによると体温測定の結果、37.5度以上の発熱があり、咳や倦怠感等の症状がみられるなど感染症が疑われる場合は搭乗のとりやめを要請されます。詳細は航空会社にお問い合わせください。（業種別ガイドライン：9ページ）（リンク）

4.新型コロナウイルス感染症かも・・・と思ったら

※11月1日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。予めご了承ください。

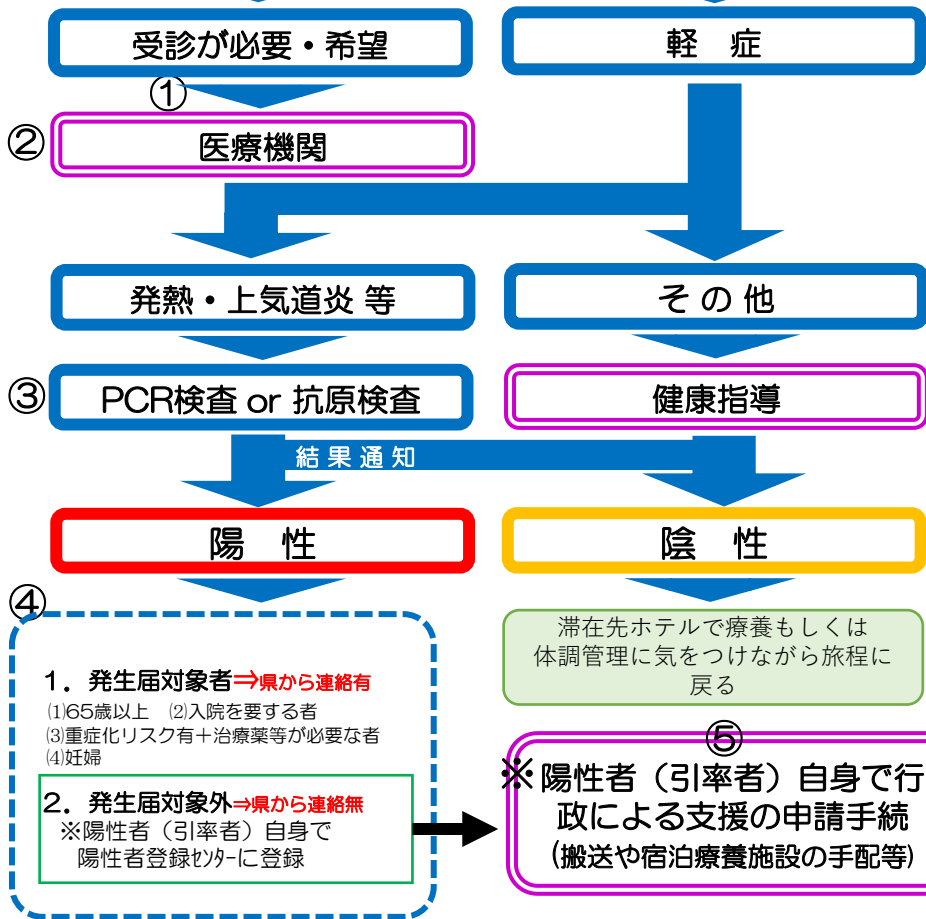
沖縄修学旅行受入のための各種問い合わせ先

沖縄滞在中に体調不良や発熱が認められた
旅行者のための相談センター

TACO (Traveler's Access Center Okinawa)

【受付時間】8:00～21:00 TEL 098-840-1677

体調不調時等の電話相談・看護師による問診等



- ① **新型コロナウイルス感染症コールセンター**
内容：検査・受診・後遺症・その他（他の専門窓口に係る内容を除く）のご相談。発熱外来対応医療機関のご紹介（一覧リスト有り）。
※受診先については、原則、当コールセンターを通じてご案内。
受付時間：24時間対応 TEL：098-866-2129
・TACOから医療機関のご案内はありません。
・コールセンターからの紹介または発熱外来対応医療機関リストから探し、医療機関へ電話してから受診してください。
・リスト内にコールセンター案内「〇」が付いている医療機関へ直接連絡も可能

- ② **発熱外来対応医療機関**（受診する場合は事前連絡してください）
<https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/kansen/iryuu/hatunetugairai.html>



- ③-1 **沖縄県接触者PCR検査センター**
<https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/hoken/vaccine/kensa/pcr.html>



- ③-2 **民間検査機関**
<https://www.pref.okinawa.jp/site/chijiko/kohokoryu/pcr-test/free-test/index.html>



④ 沖縄県 抗原定性検査・陽性者登録センター

- ・修学旅行生については、発生届対象外となるケースがほとんどですので、陽性者登録を陽性者（引率者）自身で行う必要があります。
- ・また、陽性者となったことに伴う搬送や宿泊療養施設への入所手続についても、自ら行う必要があります。



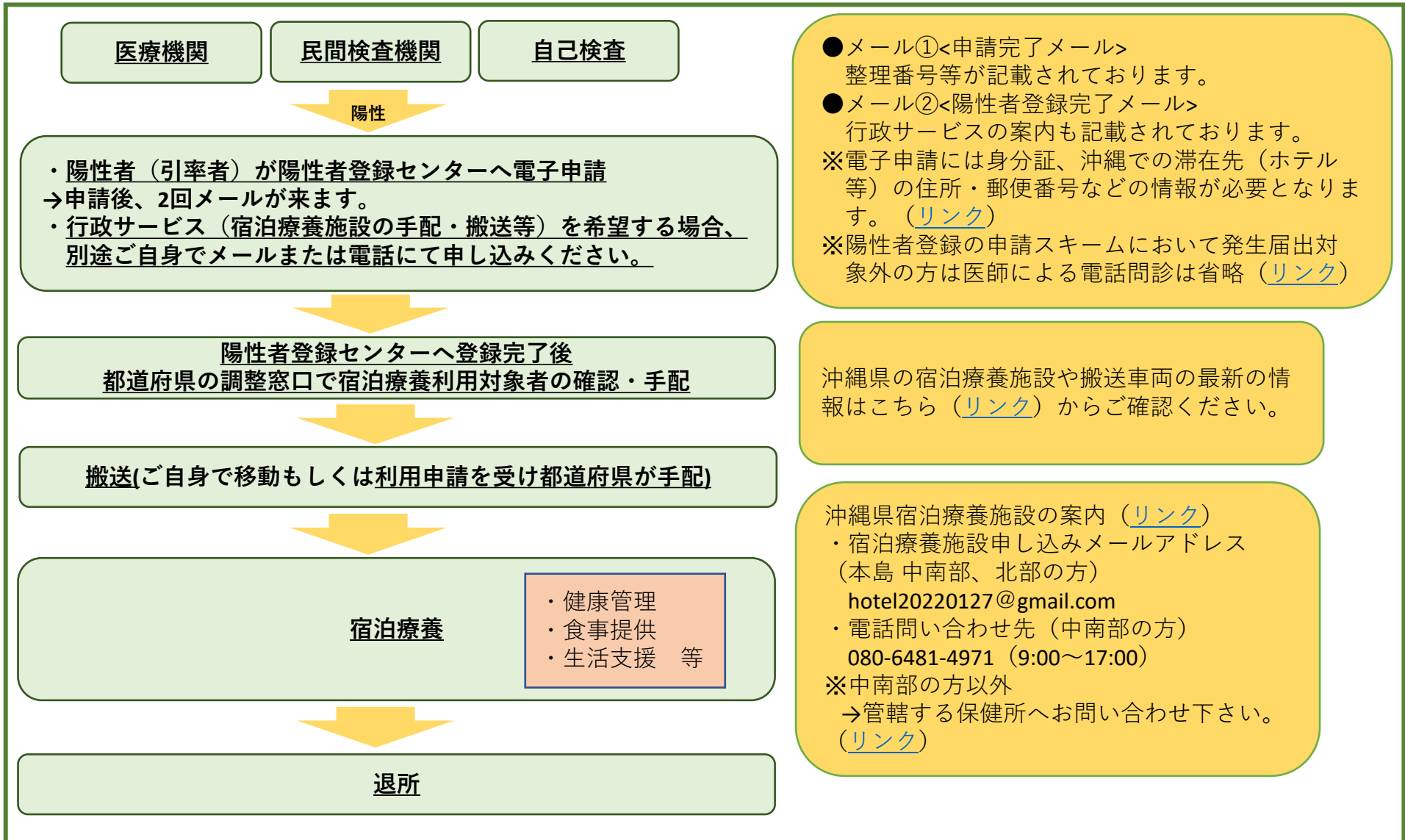
【受付時間】10:00～12:00、13:00～17:00
TEL 080-4102-0267 080-6488-2381 080-6488-2382

⑤ 宿泊療養施設申し込み等【陽性者登録完了メールにも案内有り】

- ・沖縄本島 中南部、北部 申込メールアドレス：hotel20220127@gmail.com
- ・本島中南部 問い合わせ先：080-6481-4971(9:00～17:00)
- ・本島中南部以外：管轄する保健所へ問い合わせください。

5. 宿泊療養までの流れ（イメージ）

※11月1日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。
予めご了承ください。



- メール①<申請完了メール>
整理番号等が記載されております。
 - メール②<陽性者登録完了メール>
行政サービスの案内も記載されております。
- ※電子申請には身分証、沖縄での滞在先（ホテル等）の住所・郵便番号などの情報が必要となります。（[リンク](#)）
- ※陽性者登録の申請スキームにおいて発生届出対象外の方は医師による電話問診は省略（[リンク](#)）

沖縄県の宿泊療養施設や搬送車両の最新の情報はこちら（[リンク](#)）からご確認ください。

沖縄県宿泊療養施設の案内（[リンク](#)）

- ・宿泊療養施設申し込みメールアドレス（本島 中南部、北部の方）
hotel20220127@gmail.com
- ・電話問い合わせ先（中南部の方）
080-6481-4971（9:00～17:00）

※中南部の方以外
→管轄する保健所へお問い合わせ下さい。（[リンク](#)）

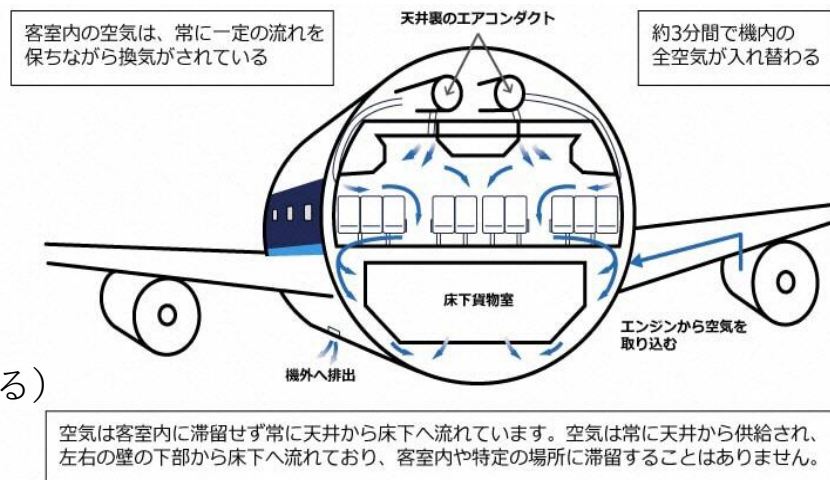
6. 県内修学旅行受入事業者の対策①

(1) 関連業種ガイドライン一覧(OCVBwebサイト)

<https://www.ocvb.or.jp/topics/3274>

(2) 航空機

- 保安検査場入口でのサーモカメラによる検温
(※一部空港にて実施)
- 機内の換気(飛行中に機内の全空気が**約3分**で常時入れ替わる)
- 機内での客室乗務員のマスク・手袋着用
- アルコールシートの提供
- お客様へのマスク着用要請等の実施



(※提供 全日本空輸株式会社)

参考ガイドライン・航空会社各社の取組

- 航空分野における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン第四版 (定期航空協会)
http://teikokyo.gr.jp/information/746/#local_nav
- 全日空：<https://www.ana.co.jp/ja/jp/topics/notice200502/>
- 日本航空：<https://www.jal.co.jp/ja/info/2020/other/flysafe/protection-measures/jal/index.html>
- スカイマーク：https://www.skymark.co.jp/ja/news/special/dom_cov_csinfo01.html?cp=topsub1covid19

記載の取り組みは一例のため、詳細につきましては、各航空会社のHPにてご確認ください

6. 県内修学旅行受入事業者の対策②

掲載の対策は各団体及び事業者発行ガイドラインのご紹介です。
詳細は修学旅行実施前に各事業者及び旅行会社へ確認をお願いします。

(3) 船舶（ターミナルにおける感染予防策など）

参考ガイドライン

- 旅客船事業における新型コロナウイルス感染予防対策 ガイドライン（一般社団法人日本旅客船協会）
https://www.jships.or.jp/news_detail.php?id=7554
- 旅客ターミナル（那覇・泊・新港）における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（那覇港管理組合）
<https://nahaport.jp/>
<https://nahaport.jp/userfiles/files/autoupload/2020/08/1597985689.pdf>

(4) バス

参考ガイドライン

- 貸切バスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン（貸切バス旅行連絡会、一般社団法人沖縄県バス協会）
<https://www.bus-okinawa.or.jp/>
https://www.bus-okinawa.or.jp/2021/pdf/guideline_3.pdf

(5) タクシー

参考ガイドライン

- ハイヤー・タクシー事業における新型コロナウイルス感染防止マニュアル <https://www.oki-taxi.or.jp/pdf/covid19-manual.pdf>
（一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会） <http://www.oki-taxi.or.jp/>

(6) モノレール

参考ガイドライン

- 鉄軌道事業における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン（鉄道連絡会）
<https://www.mintetsu.or.jp/association/news/2022/17851.html>
- ゆいレール（沖縄都市モノレール）：<https://www.yui-rail.co.jp/important/3955/>

6.県内修学旅行受入事業者の対策③

掲載の対策は各団体及び事業者発行ガイドラインのご紹介です。
詳細は修学旅行実施前に各事業者及び旅行会社へ確認をお願いします。

(7)ホテル

参考ガイドライン

➢宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン（沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合）

<http://www.oah-net.or.jp/news/index.cgi?mode=list&pline=30&lline=0>

➢ホテル業における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン（日本ホテル協会）

<https://www.j-hotel.or.jp/uploads/jhotel-admin/c2fa2906dcbd8c5e6460f7b7842602f2.pdf>



参考・感染対策一覧

➢沖縄修学旅行受入ホテル感染対策一覧表（OCVBサイト）

<https://education.okinawastory.jp/topics/9706/>

(8)観光施設

参考ガイドライン

➢観光施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン（一般社団法人美ら島観光施設協会）

<http://churaoki.com/news/20200618.html>

(9)マリン体験

参考ガイドライン

➢ORIC沖縄県海洋レジャー事業協同組合

<https://www.oric.jp/?p=449>

※各事業者発行のガイドラインを参考ください。



6.県内修学旅行受入事業者の対策④

掲載の対策は各団体及び事業者発行ガイドラインのご紹介です。
詳細は修学旅行実施前に各事業者及び旅行会社へ確認をお願いします。

(10) 教育旅行民泊

- 受入れ民家と生徒及び生徒同士の接触をできるだけ避け、対人距離を確保する。
- 入口及び民家内の手指の消毒液の設置。
- 食事、入浴、就寝以外は可能な限りマスクの着用。
- 民家及び客室、車の換気。
- 民家の定期的な消毒。
- 生徒への定期的な手洗い・消毒の要請。
- 民家、生徒の毎日の体温測定、健康チェック。朝は起床後すぐ、夜は夕食後に行く。
- 民家での体験活動はできるだけ外で行うものとする。
- 民家一軒ごとの受入人員は4～6名。**※受入人員については各民泊事業者により異なります。**
- 他人と共用する物品や手が頻繁に触れる箇所を工夫して最低限にする。
- 手や口が触れるようなもの（コップ、箸など）は、適切に洗浄および消毒する、または使い捨てにするなど
特段の対応を図る。

参考ガイドライン ※その他各民泊事業者もガイドラインを発行しています。詳細は各事業者のHPなどをご確認ください。

➤有限会社 TM.Planning <https://tmp.co.jp/news/topics/126/>



6. 県内修学旅行受入事業者の対策⑤

掲載の対策は各団体及び事業者発行ガイドラインのご紹介です。
詳細は修学旅行実施前に各事業者及び旅行会社へ確認をお願いします。

(11) 平和ガイド（ガマ入壕）

- 講師やガイドは実施日ごとに体調、手指消毒、検温等を記録する。
- 講師・ガイドはフェイスシールド、マウスシールドまたはマスクを着用する。生徒はマスクを着用する。
- 講話会場は三密対策のとられた会場であること。
- ガマに入壕時はガマの中での滞在時間を短くし、外で説明する

参考ガイドライン

- 「沖縄県観光ボランティア友の会」三密対策指針（沖縄県観光ボランティアガイド友の会）
※その他フィールドワークや平和関連施設での平和学習実施など各事業者発行のガイドラインを参考ください。

参考・感染対策一覧

- 平和学習 受入事業者 感染対策等一覧表（OCVBサイト）
<https://education.okinawastory.jp/topics/12251/>



(12) 飲食店

参考ガイドライン等

- 飲食業における新型コロナウイルス対応ガイドライン（沖縄県飲食業生活衛生同業組合）
<https://shima-gourmet.jp/>
- 沖縄県感染防止対策認証制度 感染防止対策に係る基準（飲食店）
<https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/kansen/taisaku/okininsho.html#kijunn>

(13) お土産店

参考ガイドライン

- 小売業の店舗における新型コロナウイルス感染症 感染拡大予防ガイドライン（日本小売業協会等12団体）
<https://japan-retail.or.jp/>



7.よくある質問（FAQ）①

※ 11月1日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。予めご了承ください。

沖縄修学旅行実施における新型コロナウイルス感染症対策について、保護者、学校関係者のみなさまからよくある質問を下記にまとめました。修学旅行中におきましては、まずは同行される学校の先生、旅行会社、看護師のみなさままで対応を検討された上で下記ご確認いただければと思います。

●修学旅行に関する問い合わせ先について

Q1.修学旅行前の事前相談についてはどこに連絡すればいいですか？

A1. 沖縄での修学旅行については下記にお問い合わせください。※行程などについては旅行社へお問い合わせください。

- （一財）沖縄観光コンベンションビューロー 受入推進課 教育旅行チーム
TEL：098-859-6129 （対応時間9：00～17：00 ※土日・祝祭日を除く）
- （一財）沖縄観光コンベンションビューロー 東京事務所 教育旅行チーム
TEL：03-5220-5311 （対応時間9：30～17：00 ※土日・祝祭日を除く）

Q2.修学旅行中に体調が悪くなった、また発熱者が出た場合、どこに連絡すればいいですか？

A2. 最寄りの医療機関へご相談、受診してください。
また、新型コロナウイルス感染が心配な場合は下記にご相談ください。

- 旅行者専用相談センター沖縄（TACO）（以下「TACO」※Traveler's Access Center Okinawa）
TEL：098-840-1677 （対応時間8：00～21：00 変更の可能性があります）※医療機関の紹介は行っておりません。
看護師による健康相談が主な役割です。
- 新型コロナウイルス感染症 相談窓口（コールセンター）※TACO対応可能時間外の対応
TEL：098-866-2129 （24時間受付・年中無休）
※発熱外来対応医療機関の紹介を行っております。
旅行者専用相談センター対応時間外（21：00～8：00）の相談や
新型コロナウイルス感染症に関する一般的な問い合わせに関しては、コールセンターへお問合せください。

7.よくある質問（FAQ）②

※11月1日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。予めご了承ください。

●修学旅行中のPCR検査、検査結果について

Q3. PCR検査はすぐに受けられますか？

A3. PCR検査が必要と認められた場合は検査を受けることができます。ただし、医療機関の状況によってはすぐに受けられないこともあります。また、夜間のPCR検査は沖縄県内では対応しておりません。感染の疑いがある生徒さまには医療用抗原検査キットを推奨しております。夜間の発熱など急を要する場合、医療機関等への搬送省略に対応できるため、キットの沖縄県内販売薬局を事前にご確認ください（[リンク](#)）。※陽性者に係る旅行保険の適用は、医師の診断が前提となることがあります。

発熱等、新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合はTACO（TEL：098-840-1677）に、対応時間外であればコールセンター（TEL：098-866-2129）にご相談ください。

TACO常駐の看護師が症状に応じた健康相談に対応します。
必要な場合はコールセンターが案内され、検査を行うことができる医療機関の紹介を受けることができます。

コールセンターからの紹介または発熱外来対応医療機関リストから探し、医療機関へ電話してから受診してください。
リスト内にコールセンター案内「○」が付いている医療機関へ直接連絡も可能

Q4.発熱者がPCR検査を受ける医療機関までの移動方法はどのように行えばいいですか？ また、それに伴う費用負担はどうなるのでしょうか？

A4. 移動手段は各自でご手配頂いております。また、沖縄県では一部移動に係る支援を下記のとおり行っております。

発熱のみ：学校側が三密を避けた交通手段を手配（レンタカー、タクシー等）、費用は学校側負担。
濃厚接触者：学校側が三密を避けた交通手段を手配（レンタカー、タクシー等）、費用は沖縄県負担（※）
※修学旅行緊急時支援事業（沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課HP参考

<https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoshinko/ukeire/r2syuugakuryokoukinnkyuujiensiennjigyou.html>

7.よくある質問（FAQ）③

※11月1日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。予めご了承ください。

●修学旅行中のPCR検査、検査結果について

Q5. PCR検査にかかる費用はどのようなのでしょうか？

A5. 通常の保険における自己負担分が公費負担となります。
ただし、受診料は受診者負担となります。（通常のとおり保険適用分以外が本人負担となります。）

Q6. 検査終了後、結果が出るまでの間、検査を受けた生徒はどのように隔離したらよいのでしょうか？ また、それに伴う費用負担はどのようなのでしょうか？

A6. 医療機関等の指示に従い、原則、利用予定の宿泊施設で休養し、隔離等については宿泊施設（宿泊業界）のガイドラインに沿って対応することとなっています。
ただし何らかの理由により、利用予定の宿泊施設が利用できない場合は、本人費用負担において、同行される学校の先生、旅行社の方などが対応可能な宿泊施設を手配することとなります。
なお、濃厚接触者となった生徒に関しては、隔離に係る宿泊費（ただし、延泊等の新たに発生した費用のみ）が沖縄県負担となる場合があります。（※）

※修学旅行緊急時支援事業（沖縄県文化観光スポーツ部 観光振興課HP）
<https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoshinko/ukeire/r2syuugakuryokoukinnkyuujiensiennjigyou.html>

7.よくある質問（FAQ）④

※11月1日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。予めご了承ください。

●修学旅行中のPCR検査、検査結果について

Q7.新型コロナウイルス陽性と判定された生徒は以降どういった処置が求められるのでしょうか？
また、それに伴う費用負担はどのようなのでしょうか？

A7. 感染が確認された地域での入院・療養となるため、帰省することはできません。

沖縄に滞在中に新型コロナウイルスの感染が確認された場合は、令和4年9月26日からの新型コロナウイルス感染症の全数届出の見直しにより、修学旅行生など軽症者の療養は、希望すれば原則、専用の宿泊療養施設になります。宿泊療養施設などの行政サービスを受けたい方は沖縄県陽性者登録センターへ電子申請を行っていただき登録完了後、手配の流れとなります。

ただし、受診料は受診者負担となります。（通常のとおり保険適用分以外が本人負担となります。）

厚生労働省発表の「新型コロナウイルス感染症陽性だった場合の療養解除について」は、下記の通りとなります。

Q12. 療養解除について教えてください。

A12. 【症状がある場合】発症日＝症状が出現した日から、7日以上かつ症状軽快後24時間経過後（または症状軽快後24時間以上空けて2回PCR等の検査を行い、陰性だった場合）に療養解除となります（★）（入院や高齢者施設に入所している方は10日以上かつ軽快後72時間経過後に療養解除）。
【症状がない場合】検体採取日から7日経過後に療養解除となります。また、5日目の検査キットによる検査で陰性を確認した場合には、5日間経過後に解除可能です（★）。
【無症状者が途中症状が出た場合】当初無症状の人であっても、途中で症状が出現してしまったら、発症から10日間は感染性があるとされているため、発症日が起算日になります。
※療養解除基準は変更される可能性があります。

（★）症状がある場合は10日間、症状がない場合は7日間が経過するまでは、**感染リスクがあります**。検温など自身による健康状態の確認や、高齢者等ハイリスク者との接触、ハイリスク施設への不要不急の訪問、感染リスクの高い場所の利用や会食等を避けること、マスクを着用すること等、**自主的な感染予防行動の徹底をお願いします**。

■参考：厚生労働省令和4年9月7日資料 Q&A 問12 <https://www.mhlw.go.jp/content/000928216.pdf>
厚生労働省 新型コロナウイルスに関するQ&A（一般の方向け）5.問4
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html#Q5-4、

7.よくある質問（FAQ）⑤

※11月1日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。予めご了承ください。

●修学旅行中のPCR検査、検査結果について

Q8. PCR検査費用、陽性者の入院費用は、現地窓口で支払いが必要になりますか？

A8. 初診料等の自己負担分については、別途窓口での支払いが生じます。
(検査費用、検査結果が陽性となった場合の入院費用等の公費負担分については、現地窓口での支払いは必要ありません。)

Q9. PCR検査者の検査結果が出ていない中において、検査をしていない他の生徒は、旅行行程を続けていいのでしょうか？

A.9 原則、医療機関等の指示に従ってください。
旅行中は、必要な感染防止対策（こまめな手指消毒、咳エチケット等）を心がけてください。
また少しでも体調に異変を感じたら、無理をせず、近くの医療機関に相談・受診を行ってください。
新型コロナウイルス感染が心配な場合は、TACO（TEL：098-840-1677）にご相談ください。

7.よくある質問（FAQ）⑥

※11月1日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。予めご了承ください。

●修学旅行中の濃厚接触者について

Q10.陽性者が発生した場合、濃厚接触者とそうでない人の判断（線引き）は誰が行うのでしょうか？

A10. 令和4年(2022年)1月以降、沖縄県では原則、濃厚接触者の特定を行っていません。（同居家族、ハイリスク施設を除く）新規陽性者ご自身（もしくは引率者）でどなたがこれに該当するかご判断いただきます。

（以下、沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部 web サイト（更新日：2022年7月25日）より）

【濃厚接触者とは】

陽性者（無症状者を含む）の感染可能期間中※1 に以下の接触をした者

- 陽性者の同居者
- 手で触れることのできる距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防策※2 なしで、陽性者と15分以上の接触があった者（接触状況等から総合的に判断）
- 陽性者の咳やくしゃみ、それらが付着した物等に直接接触した可能性が高い者（※直後に手指消毒等をした場合を除く）

※1「感染可能期間」

- －陽性者に症状がある場合：最初に症状が出た日の2日前から入院等の隔離開始まで
- －陽性者に症状がない場合：陽性が判明した検査を受けた日の2日前から隔離開始まで

※2「必要な感染予防策」：

お互いにマスクを着用している状況（片方のみはNG）。陽性者がマスクをしていない場合、マスクとフェイスシールドを着用していればOK。ただし、換気の悪い狭い空間（窓を閉め切った車内、等）においては、お互いにマスクをしている場合でも濃厚接触者に該当。

出典元：沖縄県HP「新型コロナウイルス感染症患者の濃厚接触者について」

<https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/hoken/vaccine/noukou.html>

Q11.濃厚接触者にはこういった処置が求められるのでしょうか？

A11. 沖縄県の発信情報（[リンク](#)）に従ってください。

基本的には、速やかにPCR検査等を実施することとし、検査結果が陰性と判明後も感染した方と接触したとされる日から5日間は不要不急の外出を控えるなどの指示があります。

7.よくある質問（FAQ）⑦

※11月1日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。予めご了承ください。

●修学旅行中の濃厚接触者について

Q12.濃厚接触者がPCR検査を受けるにはどうしたらいいのでしょうか？

A12.症状によって異なりますが、無症状の方は県の設置する接触者PCR検査センターを受検してください。

もしくは、薬局等で抗原定性検査キット（体外診断薬）を購入いただき、最終接触日から2，3日目に連続して抗原検査（自己検査）で陰性となった場合、待機期間の短縮（3日目から活動可）となれますので、抗原検査も活用してください。

【参考】<https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/hoken/vaccine/coronakana.html>

https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/hoken/vaccine/omi_noukou.html

Q13.濃厚接触者でPCR検査を受けた場合の費用はどうなりますか？（受診費用、検査費用、検査機関への交通費）など

A13. 県の設置する接触者PCR検査センターを利用された場合、検査費用は無料となっております。

医療機関を受診する場合、受診費用は通常のとおり保険適用分以外は本人負担となります。

医療機関・検査機関への生徒の交通費及び帰途の交通費については沖縄県負担となる場合があります。（※）

※修学旅行緊急時支援事業（沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課HP）

<https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoshinko/ukeire/r2syuugakuryokoukinnkyuujisiennjigyou.html>

Q14.濃厚接触者でPCR検査を受けた場合、検査結果がでるまでの待機場所はありますか？

また、その費用はどうなるのでしょうか？（宿泊費用、その場所までの交通費）

A14. 沖縄県において待機場所の用意はありません。原則、利用予定の宿泊施設で休養し、隔離等については宿泊施設（宿泊業界）のガイドラインに沿って対応することとなっています。

ただし、延泊等の新たに発生した費用については沖縄県負担となる場合があります（※）

※修学旅行緊急時支援事業（沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課HP）

<https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoshinko/ukeire/r2syuugakuryokoukinnkyuujisiennjigyou.html>

7.よくある質問（FAQ）⑧

※11月1日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。予めご了承ください。

●新型コロナウイルスに関連する沖縄県内の体制について

Q15.軽症者用の宿泊施設はありますか？

A15. あります（[リンク](#)）。検査結果で陽性となった場合、軽症者用の宿泊施設での療養又は医療機関等への入院となります。

Q16.修学旅行中に陽性反応が出た生徒が軽症者受入ホテルにて療養又は入院となった場合、保護者が沖縄へ来る費用は保険で賄えるのでしょうか？

A16. 学校旅行総合保険など各種保険によって異なりますので、詳しくはご利用の旅行会社や保険会社へお問い合わせください。

Q17.生徒が軽症者受入ホテルでの長期滞在又は入院が必要になった場合、保護者又は引率教員は生徒に会えるのでしょうか？会えない場合、ホテルか病院で生徒は一人で滞在することになるのでしょうか？

A17. 基本的には感染防止のため会えません。特別な理由等がある場合は宿泊療養施設又は医療機関へお問い合わせ下さい。

8.協力企業・参考



【協力企業】

全日本空輸株式会社

日本航空株式会社

日本トランスオーシャン航空株式会社

スカイマーク株式会社

那覇港管理組合

一般社団法人沖縄県バス協会

一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会

沖縄都市モノレール株式会社

沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合

一般社団法人沖縄県ホテル協会

沖縄県観光ボランティアガイド友の会

一般社団法人美ら島観光施設協会

ORIC沖縄県海洋レジャー事業協同組合

沖縄県飲食業生活衛生同業組合

有限会社 TM.Planning（民泊事業者）

【参考】

旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく国内修学旅行の手引き（第5版）

（2021年11月22日公表／一般社団法人日本旅行業協会）

<http://www.jata-net.or.jp/>

旅行業における新型コロナウイルス対応ガイドライン（第3版）

（2021年11月22日公表／一般社団法人日本旅行業協会・一般社団法人全国旅行業協会）

http://www.anta.or.jp/law/pdf/covid-19_guideline.pdf



沖縄修学旅行 防疫観光ガイドライン
～安全・安心な受入をめざして～

令和2年 9月18日 発行
令和2年 9月24日 更新
令和2年10月 7日 更新
令和2年10月16日 更新
令和3年 1月 4日 更新
令和3年 2月 1日 更新
令和3年 4月 1日 更新
令和3年 9月16日 更新
令和4年 1月 7日 更新
令和4年 3月 8日 更新
令和4年11月 4日 更新
令和4年11月24日 更新